

多元的創造的対話を求めて

—世界の子供たちと広島・インターネットから—

川 田 基 生

1. 目 的

- (1) 平和教育、国際化を中心テーマとする中高一貫のカリキュラムづくり
(1989年 第1次学校改革案)
- (2) 宿泊行事を中心とした学校行事および関連カリキュラムの具体化
(1989年 第1次学校改革案)
- (3) 総合学習の伝統の継承
(「平和教育としての総合学習の実践」本校紀要第36集)
- (4) 学習の遅れがちな生徒に適応した教育課程の研究開発
(平成7年度研究開発実施計画書)

2. 方 法

- (1) 学年担任団4名による総合学習の実施
- (2) 広島でのフィールドワーク
- (3) 6段階の指導計画
 - ① 興 味 の 喚 気 動機づけ 読書と映画鑑賞
 - ② 探 索 現代史学習 基礎的小事項の学習
 - ③ 提 示 特別授業 重要部分の伝達
 - ④ 対 話 調査と討論 グループ学習
 - ⑤ 表 現 間違いの訂正と表現の練習
 - ⑥ 学習の社会化 口頭発表と質疑応答 討論 レポート
- (4) 国際理解と平和教育のためのインターネット利用

3. 実践の概要

- (1) 学ぶことの楽しさを共有できる生徒集団の形成
- (2) 新しい教材の開発
- (3) 名古屋大学教育学部大谷研究室の支援を得てのインターネット利用

4. 結果と考察

全体的、包括的な学習指導のなかで特にのりの良かったのは41種類のルポルタージュの学習とコンピュータ関連の学習であった。